

What would life be if we had no courage to attempt anything?



何もチャレンジしないのならば、人生とは何の意味があるのだ。——フィンセント・ファン・ゴッホ※

例えば、今の学力より上の学校を目指すのは、大変だし落ちる可能性も大いにある。しかし、目標が高いから努力もするし、受かったときの喜びも大きい。死に近づいた高齢者に人生で後悔していることを聞いたら、チャレンジしなかったことという答えが最も多かったそうだ。悔いのない人生を送ろう。(下山)

※Vincent Willem van Gogh(1853~1890)…オランダのポスト印象派の画家。浮世絵の影響を受け、肖像画の背景の壁にいくつかの浮世絵を描き込んでいる。

◆ 卒業生の「わが校」紹介 県立蕨高校 3年外国語科 細野史穂さん(志木二中 2019年卒)

私が通っている県立蕨高校について紹介します。まずは勉強面について。令和3年度の進路実績が国公立大学合格者99名(現役合格者91名)と国公立大学への進学に強い学校だと思います。国語と英語の授業では週に2回ずつ単語の小テストが行われ、しっかりと対策して小テストに臨めば単語力が身につく、受験でも役に立ちます。65分授業2学期制を導入していて、2週間に1度土曜授業があります。65分授業は、初めは大変ですが慣れるので心配いりません▼国際交流に力を入れており、HPには「蕨高校では『国際交流』が特別なことではなく、普段の学校生活の一部です」と書かれています。留学生を受け入れたり、夏休み中に高校生海外短期派遣時事業として、毎年20名程度が2週間程度、オーストラリアに滞在します。私もこの事業に参加し、ホームステイや現地の学校生活などを体験しました。現地の友人ができたり実際に文化を体感したりと本当に貴重で充実した2週間となりました。留学に行きたいけど不安だ…とされている方にはおすすめです▼普通科と外国語科があり各学年に1クラスだけ外国語科があります。おもな特徴としては、英語の授業が多い、1年次と2年次の間の春休みにイングリッシュキャンプが行われる、普通科より進んだ教材を使用するときがある、英語劇やディベートがある、2年次から週に2時間ほど第2外国語(フランス語・ドイツ語・中国語から一つ選択)の授業があることなどが挙げられます。外国語科に在籍していて特によかったと私が思うことは、英語に触れている時間が普通科より長いこと、クラス替えがなくクラスメイトと仲良くなれることです。普通科の人と仲良くなるには体育・芸術の授業や行事で頑張らないといけません▼部活動は、バトン部とダンス部が特に強いと思います。蕨

高校は「最高レベルの文武両道」をモットーにしており、どの部活も(特に運動部)は比較的しっかりと活動しています。1年次に臨海学校(県内では3校のみ)、文化祭、運動会、球技大会、競歩大会(という名のマラソン大会)があります▼また授業とは別に、希望者が受けることができる蕨高セミナーや補講があります。蕨高セミナーでは、卒業生や蕨高校の先生、生徒にアンケートをとって外部から来ていただく方(シャチトレーナー、ボディペイントアーティスト、オリエンタルランドの社員の方、平田オリザさんなど様々な方)に講師となって講義をしていただきます▼蕨高校の先生方は、勉強のことで進路のことで学校生活のことで本当に親身になって教えてくれます。これを読んで蕨高校に興味を持ってくれた方がいたら嬉しいです。



加藤 国夫

『逆ソクラテス』 井坂幸太郎著

私は走ることを日課にしています。最近は暑くて走れない日もありますが。身体を動かすことで、凝り固まった心と体がほぐれてきます。凝り固まった心では自分の世界が狭まるので、注意しなければ▼さて、今回紹介するのは『逆ソクラテス』。小学生から読めます。「ソクラテス」について確認しておきます。こういうときは簡単にまとめてある本が便利。鷲田小彌太著『100文字でわかる哲学』という新書が手ごろでいいですよ。「ソクラテス」のところを引用します。「アテナイ最大の賢者といわれたソクラテスは、絶対的な真理などないとする考え方を否定し、普遍的真理を発見する方法を探求した。そして、『無知の知』を基本とする対話法によって世の中の『定説』をつぎつぎと批判した。」ここに出てくる「定説」というのは、先入観とか思い込みとか、凝り固まった考えのこと。『逆ソクラテス』は教師の先入観とたたかう小学生の話です。教師の先入観を壊すために、小学生たちは「カンニング作戦」などを実行していく。少しスリルもありスカッとするとところもあり、けっこう楽しい。さすがミステリーをずっと書いてきた作家です▼「決めつけて偉そうにする奴」に負けない方法を、転校生の「安齋」は「僕」に教えてくれる。「ダサイ」とか「恰好悪い」とか言われたら「僕はそうは思わない」と言えばいい。たとえば、父親が会社を首になった。誰かに「情けない父親だな」と言われたとする。そういうときにこれだけは言い返すべきだ。落ち着いて、ゆっくりと、しっかりと相手の頭に刻み込むように「僕はそうは思わない」と。情けないかどうかは人それぞれが感じることで、誰かが決められることではない。「無職だ」とは言えるが、「情けないかどうか」はわからない。他人は自分の父親のことを知らないわけだから、ちゃんと表明すべきだ、「僕はそうは思わない」と。「君の思うことは、他の人には決めることはできないんだから」と「安齋」は「僕」に語りかけます▼毎日「ダメだ、ダメだ」と言われ続けた人は本当にダメになってしまう、などとよく言われますね。言葉の呪いです。他者からの決めつけも困ったものですが、自分で自分を決めつけてしまうことも残念なことです。心は柔軟に。ひとは日々成長し続けるもの。よし、明日も走ろう、ゆっくりと。※ここで紹介された本は萌学舎文庫(自習室の本棚。2週間貸出)にあります。

◆ 行事予定

□ 9/2 2学期授業開始

□ 9/6 中3北辰テスト

□ 10/4 第5回中3北辰テスト(9/4-9/11に受験料4730円を持ってきてください。おつりの出ないようにご協力をお願いします。)

【編集/加藤】